

<活動報告書>

フリガナ	ニシニホンコウトウガッコウドボクキョウイクケンキュウカイ	
①団体名・学校名	西日本高等学校土木教育研究会	
②担当者	フリガナ	
	氏名	
	所属 役職	福岡県立三池工業高等学校 (土木科 教諭)
	TEL	0944-53-3036
	E-mail	
③申請テーマ	西日本高等学校土木教育研究会・福岡大会	
④活動期間	令和元年 8月6日 ~ 令和元年 8月7日	
⑤活動内容を記載	<p>1日目 西土研・幹事会 受付 開会行事 総会 講話 国土交通省 清水将之様 建設業基金 佐々木基様 研究協議・研究発表 福岡県立八幡工業高等学校 飯賀一博 山口県立徳山商工高等学校 松井幸司 奈良県立御所実業高等学校 坂下芳行 徳島県立阿南光高等学校 河野竜一</p> <p>指導助言 指導主事 平形隆弘様 教育懇談会</p> <p>2日目 新技術紹介 企業・専門学校より展示 講演 (I) 文科省 持田雄一様 講演 (II) 九州大学 三谷泰浩様 閉会行事 現場見学会 福岡都市高速6号線工事現場</p>	
⑥活動費用合計	3,007,600 円	
⑧別紙説明資料の有無	なし	

<活動状況写真>

【写真1】



(状況説明)  
開会行事の風景  
今回、台風の影響が心配されましたが、総会・研究協議会133名、教育懇談会112名が参加していただきました。今回59回目を迎え、高校の教師のみではなく、建設関連の企業の協賛、ご協力をいただき、文部科学省、国土交通省、土木学会、建設業振興会からご講演をいただき、研修の大きな糧を頂き発展してきました。

【写真2】



(状況説明)  
研究発表の風景  
九州地区、福岡県内のアンケート調査から土木の課題を考えました。中国地区は生徒数減少に伴い再編整備が進められ環境システム科環境土木コースの取り組みを紹介された。近畿地区は、建設現場で利用されているドローンを用いた最新の写真測量の実践を通して現在学校で行われている測量を発表された。四国地区は、2校再編統合して都市環境システム科が土木の知識・技術と建築の内容を学ぶことを発表された。

【写真3】



(状況説明)  
講演の風景  
平成29年7月九州北部豪雨で東峰村は甚大な被害を受けた。東峰村は行政、住民、専門家の三者で精度の高い防災マップを作成した。このことで行政区内の災害に対する知識や認識が向上し、災害について自ら考えることが命を救う意識が芽生えた。災害情報収集と防災業支援システムを導入し、災害発生時に河川の氾濫や道路損壊など情報をスマホなどから写真・文字で送信すると村の災害本部とスマホを持つ全村民に共有され避難行動につなげることができると力説された。